

Governor's MONTHLY LETTER

ガバナー月信

5

ガバナーメッセージ

東日本大震災と関東大震災

国際ロータリー第2750地区 2010-11年度 ガバナー 辰野 克彦



東日本大震災は、M9.0の大地震、34Mの高さもあった大津波、レベル7とされた福島第一原発の事故と日本にとり66年前の大戦敗戦以来の国家的災難といえます。

ロータリークラブは全国に広がってしまして、壊滅に近い市町村にもあります。その復興・復興には、全国民が協力しあい、1日でも早く成し遂げたいと願うところです。被災地域のロータリークラブのなかにはロータリー活動も出来ないところもあり、被災地区のガバナーは地区内のロータリークラブ全てには連絡もとれない状況であるとのこと。そんな中ではありますが、被災地区において、困っていることは何か、何が足りないかを掌握してもらい、被災地区から全国の地区に伝えていただければ即刻対応しようと、既に行動している地区、クラブもありますが、全国のガバナー同士で確認しあったところです。ロータリーがそのネットワークを活かして迅速に対応することで、被災者に本当に必要なものを届けたいと思うからです。

また、ロータリーは自治体等がなかなか手掛けられないことを、5年後、10年後を、そして遠い将来をも見据えて、復興事業にも取り組もうと確認しあいました。

1923年の関東大震災のとき、国際ロータリーから74,000ドル、米国375クラブ、英国60クラブ等、17カ国503のロータリークラブから15,000ドル、合計で世界のロータリアンから、89,000ドルの募金東京ロータリークラブに届けられました。それをどう役立てるか、クラブで検討され、孤児院の建設に37,000ドル、焼失した小学校東京118校・横浜70校に対する黒板・日本地図・世界地図・大型算盤の寄贈に27,000ドル、殉教警察官遺族に15,000ドルを寄贈することに決め、実行されまし

た。この金額は1ドル=2.5円、貨幣価値1500倍で換算しますと、当時の89,000ドルは今の334百万円ですが、この何倍もの仕事をなされたように感じられます。東京ロータリークラブは、1920年に設立され、例会が月に1回程度行なわれる社交クラブ的雰囲気でしたが、この大震災の海外からの支援を機に、会員活動も活発になり、“無我の奉仕”実現の場として毎週行なわれるようになったと東京ロータリークラブ史に記されています。

私が属します東京西ロータリークラブの国際奉仕委員会が1993年に「日本ロータリーの原風景を辿る」という小冊子を発刊しました。これは、関東大震災後に世界のロータリーから受けた支援に関することを東京ロータリークラブからお借りした資料をもとに作成され、関東大震災時のRI、世界のロータリークラブ、そして東京ロータリークラブの活動が示してくれた教訓も述べられております。

第一に、対応の早さであります。当事の通信事情、送金事情からすると驚異的な速さで、弔電、義援金送金が行なわれ、人の好意、誠意の表れであったこと。

第二に、その支援金を食料・衣料という生活用品の提供でなく、永い目で将来を見越して、人を対象に心に響く援助が行なわれたということ。

第三に、この諸外国の援助活動が日本人にとって初めて世界社会を意識するきっかけとなった、民間人の国際交流はこのときから始まったともいえること、であります。

ガバナー会では、東日本大震災復興支援検討委員会を立ち上げ、全国のロータリアンから寄贈いただいた義援金で、関東大震災後の東京ロータリークラブの例を参照にしながら被災地、被災者のニーズにきめ細かく応えられる息長い援助をして行こうと、真摯に検討しているところでございます。

INDEX

※ 3～10 は、地区ホームページ(Web)上に掲載しております。

<http://www.ri2750.org/>

1 ガバナーメッセージ

第2750地区 大震災復興支援委員会 報告 (地区幹事 小島 篤)

2 東日本大震災の支援活動について

(東日本大震災：岩手県大槌町での支援活動 報告 アンドリュウ・ウォン)

3 地区行事日程

4 銀座・日本橋グループ 活動通信

5 京浜グループ 活動通信

6 山の手西グループ 活動通信

7 多摩中グループ 活動通信

8 多摩東グループ 活動通信

9 ローターアクト委員会 活動通信

10 東日本大震災の支援活動について

(続) 東日本大震災：岩手県大槌町での支援活動 報告 アンドリュウ・ウォン

11 寄付報告／文庫通信／物故

12 出席報告／編集後記

第2750地区 大震災復興支援委員会 報告

地区幹事 小島 篤 (東京西RC)

今回の東日本大震災による被害は、過去に例を見ないものであり、一刻も早い復旧を目指し、国を挙げての取り組みが開始されました。

我がロータリーにおきましても、既にご報告の通り、全国34地区のガバナーで構成されるガバナー会が、震災直後から義援金を募り、当地区におきましても、各クラブのご協力の賜物である、第一次義援金総額約5680万円のうち5000万円をガバナー会に拠出させていただきました。

ガバナー会は、全国地区の第一次募金合計約3億8000万円の内1億円を、被災地の5地区に対し、取りあえずの見舞金として直ちに分配したことは、先般、クラブ会長・幹事にご報告させていただいた通りです。尚、ガバナー会はロータリー独自の長期的支援プロジェクトを策定中です。

一方、2750地区においても「地区 大震災復興支援委員会」を立ち上げ、3月25日に初回会議、4月20日に第2回会議を開催し、以下の通り委員会の概要を決定いたしました。

1. 目的

- 1) ガバナー会から呼びかけの募金協力と「ガバナー会東日本大震災復興支援検討委員会」への支援活動内容の提案
- 2) 地区としての復興支援事業の取り組みと、クラブが計画実施する復興支援プロジェクトへの相談対応
- 3) ロータリー財団の「ロータリー日本地震災害復興基金」への募金協力
- 4) 自粛ムードの現状における、地区事業・クラブ事業のありかたの検討
- 5) 必要に応じ、他地区（海外も含む）クラブからの支援協力に対する窓口

2. 組織

- 1) 委員長 ガバナー
- 2) 委員 危機管理委員長 会員委員会委員長
ガバナーエレクト ガバナーノミニ
地区幹事 次期地区幹事 財団委員長
次期財団委員長

3. 期間 2011年3月25日～6月30日

尚、委員会の期間は今年度の年度末迄になっていますが、次年度以後も継続して、長期の支援活動を目指すことになります。

因みに、現在迄（4月20日）の当委員会活動は次の通りです。

- 1 海外からの義援活動問い合わせ対応と、義援金への礼状送付。
- 2 被災ロータリー地区からの個別要望への対応（被災地区ガバナー窓口）
 - 1) 第2520地区（岩手・宮城）桧山ガバナーの要望に応え、布団（上下布団、カバー、枕）100セット、及び米（コシヒカリを現地の水事情を考慮して無洗米加工後）200kgを岩手県久慈市へ直接搬送。（4月8日）
 - 2) 第2530地区（福島）大橋ガバナーの要望に応え放射線探知機（ガイガーカウンター）5台を福島市内のガバナー事務所へ搬送。
- 3 石巻市対策本部に対し、非常用浄水装置（飲料及び中水用）の設置（2台）とミネラルウォーター（ペットボトル1万本）の搬送を準備中。

そのほかにも、被災翌日には、RIの認可団体ではありませんがインターナショナルなチームである、シェルターボックスチーム（避難民大型テントの提供をするチーム）からの要請により、来日したメンバーと共に被災地に向かい、仙台RC（次年度ガバナーエレクト輩出クラブ）と連絡を取り被災直後の現地で協力をしました。

上記1）、2）、3）の費用は、第2750地区の第一次義援金のうち、ガバナー会へ拠出した残余の資金、約680万円を使わせていただきますが、後日決算を各クラブへお届けいたします。

今後とも、地区義援金のご協力をよろしくお願い申し上げます。

東日本大震災の支援活動について

ガバナー月信・IT委員会

今回の記事は、ガバナー月信・IT委員会として震災による被災地の状況を正確にお知らせしたいと思い、本委員会のアンドリュー・ウォン委員〔米山学友・財団学友・超我の奉仕賞受賞（98年）、美容外科医〕が医療支援のため現地に行き、同氏より被災地大槌RC道又様（会長エレクト）と植田様（現幹事）との交流もあつたことを受け、被災地の状況報告をして頂きました。

東日本大震災：岩手県大槌町での支援活動 報告

報告者：アンドリュー・ウォン（東京南RC）

大槌町を選んだ理由 (Project Finding Criteria)

大槌町は、人口約1万5000人（8000人生存確認）。町の中心部が湾岸エリアで人口の80%を占め、情報過疎の場所です。この場所が津波に襲われ壊滅的な被害となっています。以前からRIロータリー財団のCadre（人道的補助金専門家）になるための研修で勉強したことが今役に立っており、また少人数のグループで活動するにはこの場所が活動しやすいため大槌町にポイントを絞りました。〔★岩手県災害対策本部（情報・対策T）4月17日現在 大槌町：死者644人／行方不明者1007人〕



被災地 大槌RCの会長エレクトで内科医の道又 衛先生と…

避難所などの状況

- 1) 大きな避難所（小学校／高校／公民館など：各所300～400人を収容できる）は、約10か所で、その他一軒家（4～5人収容）など含めると30箇所程で約2500人が避難所生活です。
- 2) 町役場が津波で破壊され、行政機関が崩壊しており、役場の復興が重要であると思われます。
（仮設の役場はできていますが、まだ不十分である。）

- 3) 支援により届けられた物資で、特に食料が行き届いている避難所とそうではない避難所との差が目になりました。

今回の活動内容

- ◆第1班（3/18～21）：物資提供、医療活動（インフルエンザ予防としてうがい薬、お菓子、マスク、歯ブラシ、その他日用品など）を避難所へ回り配付して参りましたが、ふとん・毛布などの物資は非常に余っているのが現状です。
- ◆第2班（4/8～10）：災害本部にて挨拶および業務の説明と物資配付。（物資は第1班とほぼ同じ）
- ◆第3班（4/23～25）：第2班で回った避難所へメンタルケア（ピエロのパフォーマンス）と健康食品の配付。（大槌町、他、釜石市、山田町、宮古市なども回りました。）

11 ページへ文章続く



「子供たちに笑顔を…」ロータリー旗を前に

2010-11年度 地区行事日程 (5-6-7-8月)

5月 9日 (月)	第31回 地区親睦ゴルフ決勝大会 (ホスト: 東京世田谷南RC) ◀中止	レイクウッドカントリークラブ
5月10日 (火) 15:00 ~ 17:00	2010-11年度 拡大運営会議	ガバナー事務所
5月13日 (金)	2010-11年度 ポリオ・プラス チャリティゴルフ ◀中止	東京国際ゴルフ倶楽部 (元東京国際カントリー倶楽部)
5月13日 (金) 15:00 ~ 17:00	2010-11年度 地区役員会 (表彰関連)	ガバナー事務所
5月13日 (金) 16:00 ~ 20:00	2010-11年度 第8回地区米山記念奨学委員会/新旧顔合わせ会	六本木ヒルズクラブ
5月14日 (土) 16:00 ~ 20:00	東京町田東RC 創立20周年記念式典 ◀中止	ホテル ザ エルシティ 町田
5月16日 (月)	東京渋谷RC 創立10周年記念行事 ◀中止	渋谷セルリアンタワー東急ホテル
5月16日 (月) タ方 ~	多摩東 クラブ協議会 (最終回)	
5月17日 (火) 16:30 ~	東京国分寺RC 創立45周年記念式典 ◀中止	パレスホテル立川
5月18日 (水)	2011-12年度 地区協議会	ロイヤルパークホテル
5月19日 (木) 18:30 ~	東京山の手RC 創立25周年記念夜間例会・祝賀会	ザ・キャピタルホテル東急1階「鳳凰の間」
5月20日 (金)	東京八王子西RC 45周年記念例会 ◀中止	八王子エルシィ
5月21日 (土)	2011年 RI国際大会 (~25日)	アメリカ ニューオリンズ
5月22日 (日) 6:30 ~ 8:00	2011年 RI国際大会 日本人親善朝食会	Marriott New Orleans
5月23日 (月) 19:00 ~ 22:00	国際大会 ガバナーナイト ◀中止 (※ただし食事会を検討中)	ミシシッピ船上ディナークルーズ

6月 4日 (土) 14:00 ~ 16:00	2010-11年度 第6回 RYLA研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟309号室
6月 5日 (日)	2010-11年度 青少年交換委員会「終了式」	国立オリンピック記念青少年総合センター
6月 4日 (土) 13:30 ~	第16回 ローター日本青少年交換研究会	ホテル奥道後
6月 5日 (日) ~ 12:50	第16回 ローター日本青少年交換研究会	ホテル奥道後
6月 7日 (火) 15:00 ~ 17:00	2010-11年度 運営会議	ガバナー事務所
6月 7日 (火) 14:00 ~ 17:00	2011-12年度 地区ロータリー財団セミナー	JICA地球ひろば 講堂
6月10日 (金) 14:00 ~ 19:30	第3回 日台ロータリー親善会議 ◀中止	ホテルグランヴィア京都
6月13日 (月)	2011-12年度 地区会員増強セミナー	グランドプリンスホテル高輪
6月14日 (火) 17:30 ~ 19:00	GSEメンバー派遣生帰国報告会	メルパルク
6月15日 (水) 15:00 ~ 17:00	2011-12年度 地区役員会	ガバナー事務所
6月17日 (金)	2010-11年度 クラブ会長幹事及び地区役員・委員会合同会議/懇親会 (地区打上げ)	ホテルオークラ
6月19日 (日) 17:00 ~ 20:30	東京世田谷南RC 創立40周年記念式典	渋谷セルリアンタワー東急ホテルB2階「ボールルーム」
6月22日 (水)	東京シティ日本橋RC 創立20周年記念式典	ロイヤルパークホテル
6月24日 (金) 13:00 ~ 15:00	米山奨学生採用説明会	ガバナー事務所
6月25日 (土)	RLI 卒後コース	国立オリンピック記念青少年総合センター

片倉年度スタート

7月 4日 (月)	2011-12年度 ガバナー事務所開き	東京倶楽部
7月20日 (水) 15:00 ~ 17:00	2011-12年度 地区役員会	ガバナー事務所

8月 6日 (土)	2011-12年度 インターアクト地区年次大会 (ホスト: 品川女子学院 IAC)	国立オリンピック記念青少年総合センター
8月17日 (水) 15:00 ~ 17:00	2011-12年度 地区役員会	ガバナー事務所

※東日本大震災の影響で、中止となっている行事がありますので、ご注意下さい。

※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。 ★青文字は片倉年度の行事予定です。

銀座・日本橋グループ 活動通信

東北・関東大震災に思う

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 岩瀬 敬一郎 (東京銀座RC)

3月11日午後2時46分頃に発生した「東北地方太平洋沖地震」は未曾有の規模で襲来、そして多大の被害となりました。この実態を詳しく知るにつれ現在でも胸の塞がれる思いで一杯です。

先ずこの「国難」と申すべき震災によりお亡くなりになられた方々には、衷心よりお悔やみとご冥福をお祈り申し上げます。

又そのご家族とご縁の有る方々・罹災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。

この「東日本大震災(未だ統一呼称はないが)」の記録を地元『河北新報』(3月12日朝刊)を中心に纏めてみました。

紙面は見開き2頁に亘り上空から写したカラー写真で津波を受けた海に漂う瓦礫の山とガソリンに引火して炎上する家屋が写し出されております。(地震の規模は後日マグニチュード8.8から9.0に修正されました。何れも写真参照)

今回の災害は、地震・津波・そして原発の原因から起きたものです。その結果、青森県・岩手県・宮城県・福島県・茨城県から千葉県までの太平洋沿岸は壊滅的な損害を被りました。同時に日本海側への避難した方々も多く居られます。

私事に亘りますが三越に在職していた頃、宮城県「仙台三越」に通算6年間勤務しており、ロータリアンとして当時からの知り合いも多くおられます。電話が通じて確認した処、中には家屋・家財の破損など被害を受けた方々も多く居られます。

そして今回の災害はカレンダーを追うにつれ増えるお亡くなりになった方々の数に心が痛みます。



4月15日現在「産経新聞」に依る被害の集計から：

*『被災者・避難者』：

死者は13,591名・行方不明者：14,497名・負傷者：4,916名。被災範囲は東北から関東までに広がっており、一時避難者数は165,000名を超えていました。

*『原発関連』：

福島第一・第二原発停止それに伴う水素爆発と放射能漏れが起きており、その行方については未だ大きな不安の毎日が続き、これが今後共大きな課題となりましょう。

*『ライフライン』：

道路は常磐道を始め不通区間多数出ています。東北新幹線は目下東京から福島間の部分運行で、JR東日本に依れば「4月末までには青森まで全線再開予定」との事です。水道・電力についても未だ全て復旧に至っておりません。

*『企業(民間設備被害)』：

判明すればする程傷跡は大きく如何に関東・東北が我が国の生産拠点として大きな存在かが伺われるところです。これらの諸点の復旧について国内外からの救援の手は各方面で進んでいます。災害地では出来るだけ早く元気を取り戻して頂きたく思います。それにはただ必要以上の節約や行事を控えるだけでなく、最近はいっしょした日常の経済活動を進め、着々と復興へ向かうように変化しております。

さて、ロータリークラブが3月31日全国地区の第一次募金集計では379,853,241円という大きな金額になりました。当2750地区は辰野ガバナーのもとスピーディーな対応で既に#2520地区(岩手、宮城)に5,000万円、#2530地区(福島)に3,000万円、#2820地区(茨城)に1,000万円、#2790地区(千葉)に500万円、#2550地区(栃木)に500万円と合計1億円を被災した各地区へ第一次義捐金をお送りしたところです。

ご高承の通り次回は第2次として4月20日の締め切りを目指して募金活動中です。義捐金を受ける各地区では時間経過と共に要望も変化して来ると思います。又贈る側としても色々なルートを駆使して推進して参ります。皆様のご協力で「是非前回を上回る義捐金」を賜りたいと願っております。

京浜グループ 活動通信

セブ・ボランティア

東京大崎RC 会長 坂田 正昭／国際奉仕委員長 田島 武史

学校に行きたくても貧困のため行けない子供達の学費、学用品の支援、カレッジと大学生は奨学金制度で支援しています。フィリピン・セブ島の学校“SOONG ELEMENTARY SCHOOL”に東京大崎RCより寄付金をはじめ子供達全員に『デジタル時計・バスケットボール(小学生用・高校生用)』を寄贈しました。

これらは子供たちにとって大変貴重な品々です。各学年代表の生徒さんたちが校庭に集まり練習を積み重ねられた歌やダンスが披露され、我々に感謝の品物や手紙が手渡されました。

また大変ありがたいことに、今回セントラル・マクタンRC例会にメイクアップし「セブ・ボランティア」の話を伝えたことをきっかけにセントラル・マクタンRCの会長・幹事も「セブ・ボランティア」に参加され、子供達の懸命な姿に感動し涙されていました。



ミクロネシア連邦へ自転車寄贈プロジェクト

東京白金RC 会長 福田 四六一／国際奉仕委員長 原田 直英

当クラブの奉仕活動は、盲導犬育成支援と盲人用絵本の普及に傾注してきました。が、創立18周年の今期は、国際奉仕プロジェクトを最重点目標に掲げ、会員一丸となって、達成する喜びと、実践哲学を学びました。会員が少なく、平均年齢が高い、女性会員の多いクラブの質を考慮し、[身近に出来る国際協力]をスローガンに掲げ、幾つかある選択肢の中から、チューク島(旧トラック島)に中古自転車、300台を寄贈するプロジェクトに決めました。

合同奉仕プロジェクトは、お互いの経験、人材、情報、才能が効率的に活用出来るので、同じ京浜グループの東京マリーンRCと手を組みました。その見事なチームワークは成就に向け大きな推進力となり、地区補助金も認可されました。

ミクロネシアの島々は、人口5万人余。その中で、チューク島は一番貧しい島です。最高の失業率、最低賃金(時給50円)、スクールバスは無く、生徒は往復5kmの道のりを徒歩で通学。自転車は貴重な交通手段なのです。現地で入手しようとしても、1商店がたまに1-2台売っているだけで、価格は3万円。彼等の3か月分の給料では高嶺の花です。

東京都の放置自転車は、区が回収し、業者に払下げます。国際親善と支援活動を大義名分に、良質な自転車、即ちメーカー品で、錆びていない、故障していないモノだけを選出。[無償で寄贈して下さい]と依頼書と企画書を手に陳情しても、[前例が無い] [規約違反]などと役所は型と常識の域を出ません。幸い、品川区のご理解と、格別のお取り計らいで、我々は毎月在庫場所に出向き、自転車の仕分け人に転じ、汗を流しました。自分達が選んだ300台の自転車に、日の丸とロータリーマークを貼り付ける作業には、会員の大多数が参加し、正に全員参加のプロジェクトを印象づけました。

こうして、300台の自転車は、修理部品と工具も詰め合わせ、協和海運の定期船で、5月9日に横浜港からチューク島に向けて出航します。10日後には学童達が笑顔で待つ港に到着予定。チューク島RC会長からも感謝の手紙が届いています。



山の手西グループ 活動通信

地域社会奉仕活動「土と遊ぶ」

東京山の手RC 会長 江中 武久

私くしたち東京山の手RCは、ここ三年間世田谷区の小学生を中心に「土と遊ぶ」をテーマに秋の始め頃、畑にジャガイモの種を蒔き、霜がまだ降らない頃。およそ三ヶ月間ほどたってからみんなで収穫をします。自然との共存や物作りの楽しみや大切さを子供たちに知ってもらい、われわれ大人も共に体験し収穫の喜びと楽しさを子供たちと共に分かち合いたいとここ毎年、世田谷の城田農園の城田さんからジャガイモの種の植え方、出来たジャガイモの掘り方などを教えてもらい、また、出来たジャガイモを当クラブのレストラン経営をしている浅木さんが、前日から店で仕込んだトン汁を畑の横の広場に当日持ってきてもらい、暖めたその中に、取れたたてのジャガイモを入れて食べるとなんと美味しい事か！この美味しさは、癖になります。いろいろと、準備は大変ですがこれも当クラブの方々がそれぞれの役割を心得て。準備し、美味しいトン汁や、今年は、「縁日」でよく有る輪投げや射的やゴムで出来てるダーツのゲームなども準備して子供たちと秋の一日を楽しく過ごしました。



多摩中グループ 活動通信

国分寺RCの45周年記念事業に向けての活動報告

東京国分寺RC 幹事 桑原 哲也

東日本大震災の復興を祈りながらの創立記念日の5月17日を迎えています。この甚大な災害の中で、記念例会の意義を留めながら自粛の例会となりましたことに、関係各位のご理解を賜りましたことに感謝とお詫び申し上げます。記念事業のテーマでありました「青少年の教育を通しての地域活動を育む」を行って参りましたので、その活動の一端を報告いたします。

- 1) 中学生に対しての命の尊厳を学ぶ救急救命の授業のための教本を700冊贈呈しました。
これにより、市内の中学生が救急救命の訓練を具体的に消防隊から学ぶことができました。
- 2) 安全・安心ベスト寄贈合同プロジェクト(地区補助金活用事業)では市内2つ目の東京武蔵国分寺RCとの共同事業で「ニコニコネット」と称して500着のベストを教育委員会を通して各地域のボランティア団体に寄贈しました。そして、共に春の交通安全週間及び日々の通学路での事故防止のための活動をしています。
- 3) 第2回の中学生「東京駅伝大会」の参加ユニホームの40着の寄贈をしました。2月25日は結団式を行い、準備をしておりましたが、震災の影響で大会は中止になりました。素晴らしい男女のユニホームを描えての来年度への再出場となり、大いなる勝利の希望の星となることでしょう。
- 4) 介助犬・聴導犬の活動のアピール活動を国分寺まつりの中でワンちゃんと一緒にに行い育成のための綿菓子作りでの売上金を寄付させていただき、市民の多くに理解を求めることができました。
- 5) 一般向け市民への公開講演会を2回の開催しました。最初は「iPhone, iPadの活用方法」で時代の最先端を学びました。次に「これからの地域密着の社会奉仕活動について」では関係者の参加の基で市内の福祉団体とのパネルディスカッションで意見交換ができました。

終わりに、困難な時代ではありますが、東京国分寺ロータリー・クラブの45年の歴史と誇りを胸に創立記念日を迎えて2010 - 2011年度の有終の美を飾って参ります。



多摩東グループ 活動通信

東京狛江ロータリークラブ 創立40周年記念式典

東京狛江RC 会長 濱田 孝

東京狛江ロータリークラブは、さる平成23年3月5日に、クラブ創設40周年の記念式典を行うことが出来ました。式典は狛江市のエコルマホールにて行われましたが、沢山のお客様と、市民の皆様で記念式典を楽しむことが出来ました。

私どものクラブ活動は、常に“地域の方々と共に”の気持ちで、言わずもがなの形で、宿っているようです。今回も狛江市立の小学校二校、中学生一校の皆様による合奏と合唱、そして、文化庁の委嘱事業となっていてます伝統文化子ども教室の修了生によるお琴の演奏が加わって、クラブの40回目の誕生日に花を添えていただきました。「音楽の街 狛江」ならではの暖かい音楽会となりました。当日は、この音楽会が始まる前に、ロータリアンによる創立40周年の記念式典が執り行われました。

第2750地区ガバナー辰野克彦様を始め、狛江市長 矢野裕様、狛江市議会議員 道下勇様、並びに創設時のスポンサークラブであります東京調布ロータリークラブの現会長 加賀美陽三郎様から、それぞれに暖かいご祝辞を戴くことが出来ました。また、多摩東グループのロータリークラブの皆様を始め、他地区のロータリークラブからも参加を戴き、成功裏に行うことが出来ましたことは、東京狛江ロータリークラブといたしましては、関係各位に心から感謝申し上げる次第です。



さて、しかしながら、僅かに一週間後の3月11日金曜日。私たちににとっては、40周年記念式典を終わって、会員それぞれがお互いに労いあっている例会。閉会の点鐘後も、余韻を味わう雰囲気の中で、「コーヒーでも飲みましょう」と、近くの喫茶店へ。コーヒーの味を楽しみ始めたその瞬間に、あの揺れ(東北・関東大震災の揺れ)を感じたということになります。「立ってられないよー」と言いながら、それぞれ急いで自分達の仕事場へ帰っていきましたが、その時点から、お互いに交わす会話の内容は、がらりと変わりました。記念式典の余韻などはもうありません。遠い昔の事になってしまったように思います。そんな中でも、今回の式典が3月5日(土)ではなく、一週間後の3月12日(土)であったとしたら、今頃どんな思いでいたのだろうか。まずは、開催できる状況だったのだろうか？ 或いは、出来なかったとしたら？ 何はともあれ、一つの事業を終わらせて戴きました。

この一連の流れの中にも、ロータリーならではの、素晴らしさを幾つも感じさせて戴きました。クラブ奉仕にかかわること、職業奉仕にかかわること、或いは社会奉仕にかかわることなどなど。会員それぞれに専門としている職業や、或いは、人柄がこのような周年事業にも活かされ、そのありようが、地域の方々への奉仕になって、地域の人々も自然にロータリーの輪に溶け込み、楽しい時間が共有できたことは何よりもうれしい事となりました。

以上が、40周年記念式典に就いての報告ですが、最後になってしまいましたが、東北・関東大震災のお見舞いと、亡くなられた方々への心からのお悔やみを申し上げさせていただきます。



ローターアクト委員会 活動通信

第31回 地区ローターアクト年次大会

ローターアクト委員会 委員長 西澤 宗英（東京渋谷RC）

ローターアクトクラブ(RAC)は、年間で様々な活動や行事をしておりますが、ロータリーの年間最大の行事が「地区大会」であるのと同様に、「年次大会」はRACのもっとも重要な行事です。このほかに、本年度は、地区内を3つの分区(京浜、都心、多摩)に分け、それぞれの分区が中心となって考えた企画を全地区で実施することも行ってきました。



例年の年次大会は、当該年度のRAC地区代表が掲げたターゲットの下で、地区内各RACがこの1年近くの間、具体的にどのような活動をしてきたかを報告すること、地区代表エレクトをはじめとする次年度地区役員による次年度活動方針の表明などが中心で、年によっては、記念講演が企画されることもあります。

本年度の地区年次大会(4月16日)も、年度当初から実行委員会の下で企画が検討されておりましたが、去る3月11日の大震災とその後の社会状況を承けて、1か月後に迫った大会をどうするかが問題となりました。当地区では、毎月、地区ローターアクト委員会を開催し、その際、RACの地区役員にも参加してもらって、指導・助言や情報交換を行っています。3月の委員会は、14日に予定されていましたが、到底開催できる状況ではなく、30日に延期することとして、この間情報収集に努めました。

30日の委員会には、通常のメンバーのほかに、ほとんどのRACからも会長・幹事が出席し、大会に向けてのそれぞれのクラブの考え方が示されました。意見は、中止すべきであるというものから、何としても実行すべきであるというものまでに分かれていましたが、意見交換をしている中で、「親睦を通じた奉仕」を掲げるRACであればこそ、このようなときにその原点(本来の姿)に立ち返り、「ローターアクターとして、今何をしなければならないか、何をすることができるのか」を考える機会として開催すべきではないかという方向に収敛していきました。こうした方向は、地区委員会としても了承しました。具体的なプログラムとしては、これも実は3月20日に予定されながら実施されなかった都心分区主催の行事(留学生を含めて、防災問題を考える集い)を、内容から見ても時宜を得ているので、アレンジして活用しようということになりました。幸い、分区行事の準備が進んでいたことと、地区委員のご協力もあり、適切な講演者が得られたことから、基調講演とこれを承けたワークショップをメインプログラムとする内容が決定されました。

当日は、辰野ガバナー、岩瀬ガバナー補佐、松本地区幹事をはじめとするロータリークラブ地区役員の皆様、多数のロータリアン、さらには、友好地区ローターアクターなど、200名を超えるご参加をいただきました。基調講演は、特定非営利活動法人JEN事務局長の木山啓子氏による「ローターアクターとして、被災地に何ができるのか」というお話を伺い、後半のワークショップは、ロータリアンを含む参加者全員を20のグループに分けて、「東北大地震の現状と復興 ～被災地を支援するヒント～」をテーマに、支援者の目線ではなく被災者の目線で望まれることを、一時的なものでなく継続可能な活動をという視点で、具体的な支援活動のプランを考えました。こうしてまとめられた20の提案は、参加者の投票にかけられ、支持の多かったものを今後の地区RAC活動として取り上げてゆくことになっています。

方針変更から大会当日まで半月という期間ではありましたが、実行委員会と分区代表を中心として集中的に準備が行われたことと、タイムリーな企画であっただけでなく、的確に支援のポイントを示された基調講演があったことなどに加え、この1か月余りの期間に実際に現地を見てきたロータリアン、ローターアクターもあったことから、非常に充実した内容のプログラムになったと感じました。

貴重な時間を割いて参加してくださったガバナーはじめロータリアンの皆様に、改めてお礼を申し上げます。私が関わるようになってからの年次大会で、ロータリアンの皆様にこれほど実質的にコミットしていただいたことはありません。本当にありがとうございました。

東日本大震災の支援活動について

ガバナー月信・IT委員会

東日本大震災：岩手県大槌町での支援活動 報告

報告者：アンドリュー・ウォン（東京南RC）



町が大津波により壊滅的な被害



津波の威力の凄まじさに驚愕



避難所で物資を配り、被災者を激励



被災者でありながら、現地で活動する
大槌RC 幹事 内科医の植田先生(写真右)と…



ワゴン車に多量の物資を積み、避難所を訪問

★ピエロのパフォーマンスで被災者の心のケア（避難所巡り）★



大槌町
災害本部

金石市
教会

——インスタントコーヒーと健康食品（サプリメント）を配布



山田町
南小学校



宮古市
小学校

2 ページより文章続く

今後どのような支援活動が必要か…? (ご提案)



子供たちへのメンタルケア (ピエロのパフォーマンス)

◆ロータリアンとして何が出来るのかを考えますと
次のような事が考えられます。

- ・被災者への心の支援
- ・奨学金による就学支援
- ・失業者に対する就労の支援
- ・船のエンジン修理などを支援
- ・震災現場で活動する専門職などの
ロータリアンタスクフォースの結成 など…

※ 現地の様子を写真撮影してまいりました。地区ホームページのガバナー月信5月号 (P.10) に掲載しておりますのでご覧下さい。

米山功労者ご紹介

ご協力感謝いたします

■ 米山特別功労法人

(株) ユー・エス・イー

吉弘 京子君 東京神宮 2011.3.16 1

■ 米山功労者

山田 隆一君	東京西	2011.3.1	1
伊東 広君	東京芝	2011.3.3	1
石井 昭久君	東京八王子西	2011.3.3	5
大石 創元君	東京八王子西	2011.3.3	2
鈴木 重春君	東京八王子西	2011.3.3	10
森 明君	東京八王子西	2011.3.3	1
小澤 晴夫君	東京城南	2011.3.4	1
野上 征利君	東京城南	2011.3.4	3
廣瀬 孝雄君	東京武蔵国分寺	2011.3.9	4
藤川 隆昭君	東京小金井	2011.3.9	4
佐伯 有行君	東京国立	2011.3.17	1
鎌田 進君	東京目黒	2011.3.18	1
末松 尚武君	東京目黒	2011.3.18	7
松坂 秀男君	東京目黒	2011.3.18	8
泉 智雄君	東京中央	2011.3.22	6
上野 善久君	東京日本橋	2011.3.31	2

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル

ご協力感謝いたします

松川 好孝君	東京神宮	2011.3.11
筒井 雅子君	東京神宮	2011.3.11
◎ 永田 國守君	東京成城新	2011.3.18
◎ 曾根 章乃君	東京中央新	2011.3.31
◎ 大西 紀男君	東京南	2011.3.31

新ベネファクターご紹介

ご協力感謝いたします

宍戸 嘉一君	東京中央	2011.3.4
田近 耕次君	東京中央	2011.3.4
山崎 源三君	東京西南	2011.3.4
田倉 整君	東京城西	2011.3.18
森 杉雄君	東京武蔵国分寺	2011.3.31

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



佐藤 雅章 (東京八王子RC)

2011年4月5日逝去 (享年60歳)

1994年10月入会 2001年12月退会

2003年7月再入会

2008年-09年度 クラブ幹事

ポール・ハリス・フェロー 米山功労者

文庫通信 (283号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

最近の資料より

◎ 「ロータリーへの道 (三訂版)」

ポール・ハリス著; 柴田實訳 成田RC 2011 372p

申込先: 成田RC FAX (0476) 33-8786

◎ 「ロータリーの日常の知識」

三木 明訳 2010 83p (A Talking Knowledge of Rotary)

申込先: 三木 明 FAX (079) 223-2477

◎ 「決議23-34について」

山崎 勝 2010 32p

申込先: ロータリー文庫 (コピー/ PDF)

◎ 「職業奉仕の目ざす所」

勝野露観 2010 12p (職業奉仕その心と今日的役割/D. 2640)

申込先: ロータリー文庫 (コピー/ PDF)

◎ 「ロータリアンの職業宣言について考えること — 『職業奉仕の現代的意義』

北岡 満 2010 4p (職業奉仕その心と今日的役割/D. 2640)

申込先: ロータリー文庫 (コピー/ PDF)

◎ 「『四つのテスト』の解釈について」

辻林俊彦 2010 2p (職業奉仕その心と今日的役割/D. 2640)

申込先: ロータリー文庫 (コピー/ PDF)

◎ 「ロータリー入門書2010~2011年度版」

前原勝樹・重田政信 2010 197p

申込先: 北斗事業出版 TEL (03) 5207-6681

◎ 「ロータリークラブ 簡単図解」

鈴木章夫 D. 2520 [2011] 12p

申込先: ロータリー文庫

◎ 「カンボジア・ベトナム海外研修」

柏木希予 2010 1p (D. 2650 インターアクト海外研修報告)

申込先: ロータリー文庫 (コピー/ PDF)



〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

★国際ロータリー第2750地区出席報告 (3月分)★

District 2750 Membership Attendance Report March 2011

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				10年7月1日	11年3月末	増減					10年7月1日	11年3月末	増減
千代田グループ	東 京 南	5	71.26	178	188	10	多摩南グループ	東 京 八 王 子	3	90.15	59	60	1
	東 京 芝	4	89.20	95	96	1		東 京 町 田	3	72.60	56	56	0
	東 京 新 橋	3	70.59	51	52	1		東 京 日 野	5	80.81	36	35	-1
	東 京 赤 坂	4	80.00	48	49	1		東 京 八 王 子 西	4	85.77	71	71	0
	東 京 み な と	3	76.67	48	50	2		東 京 町 田 ・ 中	3	71.43	38	35	-3
	東 京 レ イ ン ボー	2	78.38	39	36	-3		東 京 八 王 子 東	2	89.58	25	22	-3
	東 京 麻 布	3	71.90	22	22	0		東 京 八 王 子 南	2	89.63	53	55	2
銀座・日本橋グループ	東 京 銀 座	4	76.12	158	161	3	多摩中グループ	東 京 町 田 サ ル ビ ア	3	82.42	24	22	-2
	東 京 日 本 橋	3	80.00	180	183	3		東 京 飛 火 野	4	76.72	30	29	-1
	東 京 築 地	2	79.85	64	73	9		東 京 町 田 東	4	75.00	25	26	1
	東 京 日 本 橋 東	2	69.79	52	48	-4		東 京 八 王 子 北	1	88.57	33	37	4
	東 京 中 央	4	71.30	238	240	2		東 京 立 川	4	94.00	97	96	-1
	東 京 日 本 橋 西	4	85.90	44	44	0		東 京 小 金 井	5	93.86	30	33	3
	東 京 銀 座 新	4	80.20	69	75	6		東 京 国 分 寺	2	93.05	43	42	-1
京浜グループ	東京シティ日本橋	3	73.33	49	49	0	多摩東グループ	東 京 三 鷹	3	74.80	41	40	-1
	東 京 中 央 新	2	70.00	38	39	1		東 京 昭 島	2	79.23	53	52	-1
	東 京 羽 田	3	83.72	43	46	3		東 京 国 立	5	96.47	50	50	0
	東 京 品 川	3	89.69	62	58	-4		東京立川こぶし	3	81.21	79	80	1
	東 京 大 森	4	92.19	49	47	-2		東 京 井 の 頭	3	83.30	24	24	0
	東 京 品 川 中 央	3	79.10	58	57	-1		東 京 昭 島 中 央	3	78.00	42	44	2
	東 京 大 井	3	79.62	18	18	0		東京武蔵国分寺	2	90.00	47	49	2
	東 京 田 園 調 布	3	84.52	45	47	2		東京小金井さくら	3	75.72	23	23	0
	東 京 港 南	5	69.41	18	18	0		東京国立白うめ	2	85.00	17	22	5
	東 京 大 崎	4	80.26	38	34	-4		東 京 府 中	3	73.27	61	60	-1
	東 京 浦 田	3	90.05	62	63	1		東 京 調 布	2	81.97	61	61	0
	東 京 京 浜	1	73.68	23	23	0		東 京 多 摩	4	81.16	22	23	1
	東京田園調布緑	4	79.15	25	25	0		東 京 狛 江	4	84.75	30	29	-1
	東 京 マ リ ー ン	4	71.15	17	14	-3		東 京 稲 城	3	87.09	30	33	3
山の手東グループ	東 京 白 金	2	79.70	28	27	-1	バシフィック・ペイサングループ	東 京 武 蔵 府 中	4	78.92	57	55	-2
	東 京 高 輪	2	82.30	25	26	1		東 京 た ま が わ	5	71.26	26	26	0
	東 京 西	3	77.94	151	155	4		東京多摩グリーン	4	82.50	36	36	0
	東 京 城 西	3	69.07	77	75	-2		東京調布むらさき	3	86.48	82	81	-1
	東 京 西 南	3	83.67	52	49	-3		Guam	4	60.00	66	69	3
	東 京 原 宿	4	84.00	26	25	-1		Saipan	5	72.86	39	41	2
	東 京 杉 並	3	71.87	40	41	1		Tumon Bay	5	48.28	88	87	-1
	東 京 神 宮	4	71.42	29	28	-1		Northern Guam	4	41.00	39	37	-2
	東 京 恵 比 寿	5	72.40	96	96	0		Pohnpei	5	40.60	21	23	2
	東 京 広 尾	3	70.00	20	20	0		Palau	5	75.00	15	19	4
山の手西グループ	東 京 渋谷	1	62.50	40	35	-5	国内83クラブ計 地区91クラブ計	Guam-Sunrise	4	52.00	30	32	2
	東 京 六 本 木	2	72.00	50	51	1		Truk Lagoon	4	45.00	11	12	1
	東 京 世 田 谷	3	81.38	56	57	1							
	東 京 目 黒	5	94.09	44	47	3							
	東 京 成 城	4	82.62	22	22	0							
	東 京 世 田 谷 南	3	76.00	88	95	7							
	東 京 城 南	2	75.00	34	33	-1							
	東 京 山 の 手	5	81.55	60	63	3							
	東 京 成 城 新	4	79.48	31	39	8							
	東 京 青 山	4	83.90	29	30	1							
	東 京 自 由 が 丘	3	87.73	21	20	-1							
	東京世田谷中央	4	75.66	22	18	-4							
	東京米山友愛	4	64.29	27	33	6							
						</							

編集後記

未曾有の大震災の後、5月号の月信をお届けいたします。4月号でガバナーがお書きになったシェルターボックスのお話。震災後の13日には早くもロータリーとして支援の行動が興され、被災地に向けて出発いたしておりました。今日に至るまで、数多くのロータリアンが被災地に向けて種々の支援に立ち上がったことを幾つとなくお伺いいたしました。第2750地区のロータリアンそれぞれが第2750地区を中心として、更なる大きな輪の中で最大限の努力を被災地に心を

を込めて援助して行きましょう。生かされている人としての、ロータリアンとしての使命として…。お亡くなりになられた方々に心より追悼の意を心を込めてお祈りいたします。また、世界中のロータリアンよりの援助に対して同胞としての喜びとともに心より感謝いたします。

今後も、援助に対する情報を少しでも多くお伝えしていきたいと思います。

2010-11年度ガバナー月信・IT委員会 委員 浅見 省三 (東京立川こぶしRC)

国際ロータリー第2750地区 2010-11年 ガバナー 辰野 克彦

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2010-11 Governor Katsuhiko Tatsuno

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 辰野 克彦(2010-11) ©Katsuhiko Tatsuno 2011

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会 委員長 堀口 昇治 副委員長 山見 真弘 副委員長 木村 清信

副委員長(年次報告書担当) 竹平 時彦 Andrew WONG 島村 博之 望月 耕次 松田 美房 石黒 重徳 森本 行俊 清野 修一

浅見 省三 河村 勝久 坂場 一隆 Brian McDERMOTT

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>